

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地 2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



11月は畜産環境月間です

平成16年11月1日の「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」本格施行を機会に、熊本県では11月を畜産環境月間と定めて、畜産環境保全に努めるように呼びかけています。

法に定める管理基準の適用を受ける飼養規模は次のとおりです。

牛、馬は10頭以上、豚は100頭以上、鶏は2,000羽以上

これらに該当する方は、次の事項を遵守する必要があります。

- ◆堆肥・尿処理施設の床を不浸透性材料(コンクリートやビニール等)で整備し、堆肥施設等には適当な被覆や側壁等を設けること。
- ◆堆肥化処理施設等の定期的な点検、補修、維持管理を行うこと。
- ◆家畜排せつ物の発生量や処理について記録をつけること。

※管理基準以下の経営においても適正に管理することが必要です

畜産業において、家畜排せつ物を適正に管理することは義務となっています。

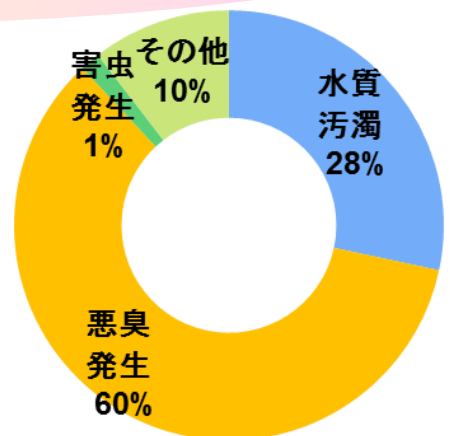
地域に理解される畜産経営を目指しましょう。

畜産環境への苦情の半数以上は、悪臭発生によるものです。

悪臭発生対策として、

- 畜舎からのふん尿の早期搬出
- 畜舎内外の清掃
- 適正な堆肥化・浄化处理
- 圃場での散布後の速やかな耕起

県では関係団体と連携して熊本県耕畜連携推進協議会を設置し、家畜排せつ物の適切な管理を通じて生産された良質な堆肥の情報等を提供するなど、環境保全型農業や耕畜連携を推進しています。詳しくは、協議会HP「くまもと堆肥ネット」をご参照ください。



畜産経営に起因する苦情発生状況

平成30年7月～令和元年6月

お問い合わせ先

- お近くの地域振興局農業普及・振興課
- 熊本県耕畜連携推進協議会事務局
096-333-2398 (熊本県農林水産部畜産課)
096-328-1025 (JA熊本中央会
担い手・法人サポートセンター)

豚コレラ発生時を想定した県防疫演習

10月11日に、令和元年度熊本県豚コレラ防疫演習を実施しました。例年は鳥インフルエンザや口蹄疫を想定して防疫演習を行ってきましたが、昨今の家畜衛生状況を鑑みて、今年度は県で初の試みである豚コレラを対象に防疫演習を実施しました。午前の部では、岐阜県の家畜防疫対策課の高井尚治課長に、豚コレラ発生地域の防疫対応の現場や経験を御講演いただきました。午後の部では豚の模型と模擬豚舎を使い、発生時の防疫対応の動きを確認しました。

国内で豚コレラがなかなか終息せず、日々緊張感がありますが、今後も皆様の御協力の元、家畜防疫および衛生事業に取り組んでまいりたいと考えております。



今月から高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間です！！

熊本県では11月1日～4月30日を「高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間」と定め、ウイルスの侵入防止および万一の発生時のまん延防止対策を強化しています。

家畜飼養者や関係者の皆様におかれましては、長靴の消毒や防鳥ネットの補修など、飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

また、死んだ野鳥を発見された場合には、阿蘇地域振興局 林務課(22-1117)までご連絡をお願いします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地(国)	畜種	発生年月日
アフリカ 豚コレラ	中国2件)	豚	令和元年(2019年)10月1日 ～令和元年(2019年)10月30日
	韓国(5件)	豚	令和元年(2019年)10月2日 ～令和元年(2019年)10月9日

令和元年(2019年)11月1日時点

毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

